



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月28日

上場会社名 中央魚類株式会社

上場取引所 東

コード番号 8030 URL <http://www.marunaka-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 伊藤 裕康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 福元 勝志

TEL 03-6633-3000

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 65,361 | 17.2 | 1,264 | 51.7 | 1,388 | 56.8 | 898 | 282.4 |
| 2022年3月期第2四半期 | 55,772 | 35.0 | 833 | 38.2 | 885 | 27.5 | 234 | 40.1 |

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 923百万円 (15.7%) 2022年3月期第2四半期 1,095百万円 (67.9%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 224.89 | |
| 2022年3月期第2四半期 | 58.82 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 73,608 | 25,071 | 31.9 | 5,883.15 |
| 2022年3月期 | 71,613 | 29,031 | 34.1 | 6,116.62 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 23,500百万円 2022年3月期 24,433百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | | | | 70.00 | 70.00 |
| 2023年3月期 | | | | | |
| 2023年3月期(予想) | | | | 60.00 | 60.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 112,000 | 8.1 | 1,500 | 24.3 | 1,600 | 21.2 | 950 | 17.6 | 237.81 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|-------------|----------|-------------|
| 2023年3月期2Q | 4,315,300 株 | 2022年3月期 | 4,315,300 株 |
|------------|-------------|----------|-------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|-----------|----------|-----------|
| 2023年3月期2Q | 320,681 株 | 2022年3月期 | 320,681 株 |
|------------|-----------|----------|-----------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2023年3月期2Q | 3,994,619 株 | 2022年3月期2Q | 3,994,646 株 |
|------------|-------------|------------|-------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、米国をはじめとする主要先進国がインフレ抑制に向け金利引き上げを行う中、日銀の金融緩和政策継続の方針で為替相場は急激な円安ドル高となり、ロシア・ウクライナ情勢長期化の影響によるエネルギーや食糧価格の高騰、また1日の感染者数が20万人を超えた新型コロナウイルス感染症第7波の影響による景気後退リスクが高まる中、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況の下、当社グループの中核事業である水産物卸売事業においては、販売数量が減少しましたが水産物全般の単価高の影響により売上、売上総利益ともに順調に推移しました。冷蔵倉庫事業においては入出庫量の増加により売上は順調に推移しましたが、電力料、荷役作業費等の値上の影響を受け営業費は増加しました。

その結果、当社グループの売上高は65,361百万円（前年同期比17.2%増）となり、営業利益は1,264百万円（前年同期比51.7%増）、経常利益1,388百万円（前年同期比56.8%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、898百万円（前年同期比282.4%増）となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

(水産物卸売事業)

当第2四半期連結累計期間においては、販売数量は減少しましたが商品単価高の影響もあり、売上高61,360百万円（前年同期比18.0%増）、セグメント利益は684百万円（前年同期比204.9%増）となりました。

(冷蔵倉庫事業)

当第2四半期連結累計期間においては、冷凍食品等の市販用商材を扱う物流センター事業が好調に推移した結果、売上高は3,387百万円（前年同期比4.5%増）となりましたが、経費の増加によりセグメント利益は310百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

当第2四半期連結累計期間においては、稼働率の向上により、売上高は317百万円（前年同期比12.1%増）、セグメント利益は261百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

(荷役事業)

当第2四半期連結累計期間においては、顧客への配送業務の増加で、売上高は296百万円（前年同期比29.6%増）と好調でしたが、経費の増加によりセグメント利益は8百万円（前年同期比68.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,995百万円増の73,608百万円となりました。これは主に現金及び預金359百万円の減少、売掛金803百万円の増加、商品及び製品2,441百万円の増加、有形固定資産762百万円の減少によるものです。

(負債)

負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ5,955百万円増の48,537百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金1,236百万円の増加、2022年3月1日から2022年4月12日に当社の連結子会社である株式会社ハウスイの普通株式に対する公開買付けを実施し、同社の普通株式取得資金などにより短期借入金4,110百万円の増加によるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,960百万円減少し25,071百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益898百万円の計上、2022年3月から2022年4月12日に当社の連結子会社である株式会社ハウスイの普通株式に対する公開買付けを実施し、同社の普通株式を取得したことなどにより資本剰余金1,348百万円の減少、非支配株主持分3,027百万円の減少、剰余金の配当279百万円減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の予想につきましては、世界的なエネルギー、食糧等の高騰や円安による輸入コストの上昇等がみられることから、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況が続くものと想定されます。

当第2四半期連結累計期間においては当初計画を上回る推移を示しておりますが、今後の世界経済の行方が不透明であることから、現時点におきましては2022年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,542 | 7,183 |
| 受取手形 | 27 | 25 |
| 売掛金 | 11,929 | 12,732 |
| 前渡金 | 24 | 16 |
| 商品及び製品 | 8,169 | 10,611 |
| 原材料及び貯蔵品 | 52 | 48 |
| その他 | 1,015 | 812 |
| 貸倒引当金 | △359 | △396 |
| 流動資産合計 | 28,402 | 31,033 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 22,063 | 21,386 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,621 | 1,477 |
| 土地 | 6,354 | 6,317 |
| リース資産(純額) | 697 | 774 |
| その他(純額) | 202 | 220 |
| 有形固定資産合計 | 30,940 | 30,178 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 2,341 | 2,293 |
| のれん | 28 | 14 |
| その他 | 579 | 533 |
| 無形固定資産合計 | 2,949 | 2,841 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,833 | 7,997 |
| 長期貸付金 | 82 | 128 |
| 差入保証金 | 300 | 295 |
| 繰延税金資産 | 398 | 397 |
| 退職給付に係る資産 | 588 | 600 |
| その他 | 290 | 325 |
| 貸倒引当金 | △172 | △190 |
| 投資その他の資産合計 | 9,322 | 9,555 |
| 固定資産合計 | 43,211 | 42,575 |
| 資産合計 | 71,613 | 73,608 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 10,097 | 11,334 |
| 短期借入金 | 4,400 | 8,510 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,798 | 1,901 |
| 未払金 | 187 | 177 |
| 未払法人税等 | 619 | 566 |
| 賞与引当金 | 259 | 280 |
| 役員賞与引当金 | 31 | — |
| 修繕引当金 | 20 | 20 |
| その他 | 2,567 | 2,215 |
| 流動負債合計 | 19,980 | 25,006 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 18,538 | 19,236 |
| 長期未払金 | 205 | 225 |
| 繰延税金負債 | 1,159 | 1,249 |
| 役員退職慰労引当金 | 13 | 13 |
| 退職給付に係る負債 | 1,460 | 1,504 |
| その他 | 1,224 | 1,302 |
| 固定負債合計 | 22,601 | 23,531 |
| 負債合計 | 42,582 | 48,537 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,995 | 2,995 |
| 資本剰余金 | 1,348 | — |
| 利益剰余金 | 17,636 | 18,080 |
| 自己株式 | △695 | △695 |
| 株主資本合計 | 21,285 | 20,380 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,040 | 3,026 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 107 | 94 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,148 | 3,120 |
| 非支配株主持分 | 4,597 | 1,570 |
| 純資産合計 | 29,031 | 25,071 |
| 負債純資産合計 | 71,613 | 73,608 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 55,772 | 65,361 |
| 売上原価 | 49,735 | 58,638 |
| 売上総利益 | 6,037 | 6,723 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,203 | 5,458 |
| 営業利益 | 833 | 1,264 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 1 |
| 受取配当金 | 112 | 197 |
| 持分法による投資利益 | — | 10 |
| その他 | 54 | 81 |
| 営業外収益合計 | 168 | 292 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 89 | 98 |
| 持分法による投資損失 | 14 | — |
| その他 | 13 | 69 |
| 営業外費用合計 | 117 | 168 |
| 経常利益 | 885 | 1,388 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 202 | 84 |
| 投資有価証券売却益 | — | 27 |
| 補助金収入 | 2 | 30 |
| 特別利益合計 | 204 | 142 |
| 特別損失 | | |
| 関係会社株式売却損 | 124 | — |
| 固定資産圧縮損 | — | 30 |
| 特別損失合計 | 124 | 30 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 966 | 1,500 |
| 法人税等 | 469 | 548 |
| 四半期純利益 | 497 | 952 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 262 | 53 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 234 | 898 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 497 | 952 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 601 | △14 |
| 退職給付に係る調整額 | △2 | △13 |
| その他の包括利益合計 | 598 | △28 |
| 四半期包括利益 | 1,095 | 923 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 831 | 870 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 263 | 53 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2022年2月28日開催の取締役会決議に基づき、第1四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である株式会社ハウスイの普通株式に対する公開買付けを実施し、同社の普通株式を取得したことにより、資本剰余金が1,523百万円減少しました。これにより、資本剰余金が負の値になったため、当該負の値を利益剰余金から減額しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

連結子会社の解散及び清算

当社は、2022年8月26日開催の取締役会において、当社の連結子会社である千葉中央魚類株式会社を解散及び清算することを決議いたしました。

1. 解散及び清算の理由

当該連結子会社は、水産物取扱数量減少が続く厳しい業績となり、改善策を進めてきましたが、収益改善には至りませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響による水産物の需要減少や豊洲市場へのシフト、原材料を含めた種々コスト増と更に環境は厳しくなり、今後の事業継続は困難と判断いたしました。

2. 当該連結子会社の概要

名称： 千葉中央魚類株式会社
所在地： 千葉県千葉市美浜区高浜2丁目2番1号
代表者： 松本 孝志
事業内容： 水産物卸売事業
資本金： 100百万円
設立年月日： 1981年5月1日
大株主及び持株比率： 中央魚類株式会社 100%

3. 解散予定日

2023年1月31日

4. 解散及び清算による損益への影響

当該連結子会社の解散及び清算が当連結会計年度の業績に与える影響につきましては、現在精査中でありませ

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額(注)2 |
|-----------------------|-------------|------------|-------------|------|--------|-------------|---------------------------|
| | 水産物 卸売事業 | 冷蔵倉庫 事業 | 不動産 賃貸事業 | 荷役事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 52,019 | 3,240 | 283 | 228 | 55,772 | — | 55,772 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 2 | 166 | 87 | 178 | 435 | △435 | — |
| 計 | 52,022 | 3,407 | 371 | 407 | 56,207 | △435 | 55,772 |
| セグメント利益 | 224 | 361 | 219 | 28 | 833 | 0 | 833 |

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額(注)2 |
|-----------------------|-------------|------------|-------------|------|--------|-------------|---------------------------|
| | 水産物 卸売事業 | 冷蔵倉庫 事業 | 不動産 賃貸事業 | 荷役事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 61,360 | 3,387 | 317 | 296 | 65,361 | — | 65,361 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 184 | 158 | 121 | 464 | △464 | — |
| 計 | 61,360 | 3,571 | 476 | 417 | 65,826 | △464 | 65,361 |
| セグメント利益 | 684 | 310 | 261 | 8 | 1,264 | △0 | 1,264 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。